

公文医師より

～感染性胃腸炎について～

子供の年齢によらず年間を通じて多い症状の一つに「軟便、下痢」があります。



急性下痢症の原因のほとんどは感染性胃腸炎ですが、食物アレルギーや抗菌薬をはじめとする薬剤に起因する場合があります。

酸臭がある泥状便、水様便で明らかな血液の混入がない場合はまずウイルス性腸炎（ロタウイルス、ノロウイルス、アデノウイルスなど）を考えます。粘液や血便、膿の混ざる下痢便の場合は細菌性胃腸炎（病原性大腸菌、カンピロバクター、サルモネラ）の可能性も否定できず、強い腹痛を伴うことが多いです。

下痢の頻度は1日1回のことでもあれば10数回に及ぶこともあります。ウイルス性、細菌性を問わず、バイタルサイン（血圧や脈拍）やお子さまの活気、食欲、嘔吐の有無、腹痛、尿量や体重減少などを総合的に考慮し脱水（体の水分が不足すること）の程度、下痢の重症度を考えます。

治療としては明らかな脱水がないか、あっても軽度の場合は経口補水液、スープ、みそ汁などで水分補給をすることが第一です。乳児の場合はできるだけ早期に母乳を再開すべきとされておりミルクを希釈する必要はありません。幼児の場合も早期から食事を摂取することにより、罹患期間が短縮され栄養学的にも改善が期待されます。

腸の運動を抑制する止痢薬の投与は病原体の排出を抑制し、腹部膨満がひどくなるなど症状を悪化させることがあるため、脱水が強く疑われる時を除けば基本的には使用しないことが多いです。急性下痢症の多くはウイルス性であり、抗菌薬は無効です。細菌性が強く疑われる時以外は初期から抗菌薬を使用することはありません。

お子さまに活気があり全身の状態が保たれていれば必要以上の心配はしなくても大丈夫です。こまめな水分摂取を心掛け、生菌剤（整腸剤）などを内服して回復を待ちましょう。





放射線科より

医療被ばくについて

～CT 検査についてよくある保護者さまからの放射線相談～



Q.子どもが CT 検査をしても被ばくは大いじょうぶですか？

子どもの放射線の感受性はおとなよりも高いといわれていますが、おとなにくらべてからだの小さい子どもの検査は放射線の量を減らしているため、放射線による影響を心配する必要はありません。

Q.他の病院でも検査したけど、また検査して大丈夫ですか？

他の病院で検査したあとに経過観察の目的で検査を行うことがあります。比較的短い期間に CT 検査を受けても放射線が体内に残って障害が出るということはありません。被ばくのデメリットより病気の早期発見と、早期治療する事の方が大きなメリットになります。

Q.定期的（年に数回）に検査しているけど体に負担、影響はないの？

CT 検査でからだに影響が出るほどの線量で検査は行っていません。放射線の検査で受けた影響も時間とともに回復するので、目に見えてわかる範囲での負担や影響は出ないので安心してください。

Q.これから赤ちゃんが欲しいけど CT 検査しても大丈夫ですか？

これから妊娠し、生まれる子どもに影響するのは生殖腺（精巣、卵巣）の被ばくによる突然変異ですが、CT 検査での被ばくによる影響の発生する確率はほとんど問題になりません。

Q.赤ちゃんに母乳をあげているけど検査して母乳は大丈夫ですか？

放射線が体内に残る事は無いので母乳の中に放射線がでることはありません。

母乳の出る量や味にも影響しないので安心してください。





事務局より



スギ・ダニアレルギーの方に朗報！ アレルギー・呼吸器外来 舌下免疫療法のご案内

2018年5月より角田 篤郎医師のアレルギー・呼吸器内科外来を行っております。花粉症、アレルギー性鼻炎、ぜんそく、せきやたんなどでお困りの患者さまはお気軽にご相談ください。診療は月・火・水・金曜日となっております。

また、月・火・水・金の15:00~16:00はスギ・ダニアレルギーに対する「舌下免疫療法専門外来」を行っております。「舌下免疫療法」はスギやダニといったアレルギー物質を舌の下に投与し、体に「慣らしていく」ことで、体のアレルギー反応を和らげる治療法です。この治療によって、約8割の方の症状が改善し、そのうち約2割の方は症状が全く出なくなると言われています。スギ花粉症やダニアレルギーでお悩みの方は、ぜひ一度、角田医師外来でご相談ください。当院では治療を受けられる方の年齢を高校生以上としています。ご興味のある方は、受付でパンフレットをお渡ししていますので、お気軽にお申し出下さい。

～舌下免疫療法の治療の流れ～

① 治療開始前受診（角田医師通常外来）

スギもしくはダニに対しクラス2以上のアレルギーがあるかどうかの確認が必要となります。当院で検査を受けていただくか、他院で受けた検査結果をご持参ください。アレルギーがあることが確認できれば、治療についての説明をお聞きいただき、同意をいただければ、初回治療の予約を取っていただきます。

② 初回治療（15:00~16:00 専門外来）

院内で薬剤の初回投与を行います。アナフィラキシーという重篤な副作用が出る可能性があるため、投与後30分間は院内で待機していただきます。問題がないようでしたら、6日分の薬剤をお渡しします。

③ 1週間後再診（角田医師通常外来）

状態や副作用の有無の確認を行い、治療継続可能かどうか判断します。その後の通院頻度に関しては使用する薬剤等によって異なります。



医療法人社団 みやびの会

あきる野総合クリニック

当日の診療順番予約はアイチケット

<http://paa.jp/t213/0/>



予防接種、乳児健診の予約は

<http://www.0425182088.com/i/>



〒197-0802 東京都あきる野市草花 1439-9

TEL 042-518-2088

HP <https://akiruno-sogo-clinic.com>

(あきる野市 小児科 で検索して下さい。)

休診日 祝日 振替休日 年末年始

